

諏訪信用金庫は(株)Origami と業務提携し

スマホ決済サービスによるキャッシュレス化へ取り組み開始しました。

諏訪信用金庫は 10 月 15 日付で、スマホ決済サービス「Origami Pay」を提供する株式会社 Origami(本社・東京都港区、康井義貴社長)と業務提携に関する契約を締結し、キャッシュレス化への取り組みを始めました。同社のサービスで協業することで、お客様の多様なニーズへの対応や利便性向上に向けた新たな決済手段の提供を目指しています。同社との業務提携締結は県内金融機関初です。

キャッシュレス化は、経済産業省の「キャッシュレス・ビジョン」に示されるように、国の積極施策の 1 つとなっています。金融機関には独自開発のほか、フィンテック企業と連携して進めるなどの動きがあります。こうした中で、当金庫は Origami との提携を選択しました。

Origami Pay は、決済を通じた顧客分析ツールに強みがあり、事業者の新規顧客獲得や売上増加が期待できるとともに、中国大手電子決済サービス「支付宝(アリペイ)」にも対応しているため、インバウンド需要の取り込みも可能です。

本契約では、同サービスを利用する加盟店の候補者を当金庫が紹介することで、加盟店数の拡大を図りながらお客様の利便性を高めます。当金庫の営業店網をはじめ、諏訪地方で Origami Pay 導入を推進し、キャッシュレス化による決済の拡大を図ることで、地域経済活性化へ貢献する所存です。

11 月 20 日(火)に諏訪市文化センターでのお客様向け説明会を予定しています。

■Origami Pay の概要

加盟店での買い物の際、クレジットカードや信用金庫口座を登録したスマートフォン専用アプリで、店舗に表示されている QR コードを読み取り支払いが完了します。加盟店は 2018 年度内に 10 万店舗を目指して増加しています。加盟店のメリットは、初期費用や月額費用が無料(決済手数料は必要)で、アプリに掲載される加盟店のマップに店舗情報を無料で掲載できます。また、顧客分析ツールのダッシュボード機能も無料で利用できます。